

今月の Twitter 2018 年 8 月(抜粋)

今月の「つぶやき」を抜粋で集めました。

【7月21日】

「陰口を言うのは暇な証拠である」



【7月22日】

朝散歩。お年寄りが公園の掃除をされています。近頃、雑草が伸び放題になっている公園が多くあります。管理者である行政の手が回らないためです。

地域の活動に感謝します。

「人間っていうのはね、うつむいてばかりいる人には何もしてあげられないけど、前を向いてどうにか歩いていこうとする人には手を差し伸べるものだよ。」

【7月23日】

[あまり知られていない法定相続情報証明制度](#)

【7月24日】

スクールロイヤー。いじめへの対応を助言する弁護士のことです。

保護者からいじめなどの相談を受けた場合に、学校側が対応を誤らないようにするため、弁護士と連携する教育委員会が増えてきました。

客観性、中立性の重視。教育現場を理解する弁護士を増やすことも大切です。

【7月27日】

全都道府県に拠点病院。アトピー性皮膚炎等アレルギー疾患に関する専門性の高い拠点病院が整備されます。

アレルギー疾患の患者は増加傾向。治療を受けられる病院は都市部を中心とした一部医療機関に限られ、地域間格差が指摘されていました。

【7月28日】

「ほめ上手な人は見返りを求めない」

【7月29日】

「”運がいい”と答える人は、自分がこれまで周りの人に助けられながら生きてきたことに気づいている人。一方、”運が悪い”と答える人は、自分の実力や自分の置かれている状況を客観的に捉えておらず、うまくいかないことがあると運のせいにしてきた人。」

【7月30日】

[今月の Twitter 2018 年 7 月\(抜粋\)](#)

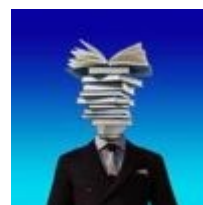
【7月31日】

親元を離れて暮らす子は 2016 年時点で、全国で約 45,000 人。このうち約 6,000 人は里親家庭で暮らしています。

厚労省は「里親委託率」を 75%することを目指して、特別養子縁組の成立件数を倍増させる目標を掲げました。5 年をかけて年 1,000 件に。

[会社再建時に悩ましい「評価損益の計上」と「欠損金の期限切れ」問題](#) | 大阪の企業会計の主治医

期限切れ欠損金を含めた欠損金を損金算入できる制度が準備されています。



【8月1日】

「定年後も働きたい」。定年前の正社員の 8 割がそう答えました。ただ、この中の 1/4 は「働きたいが働けない状況」とも。

【理由】「日々の生計維持」、「生活のハリ・生きがい」

年を取るほど、社会とのつながりや充実した生き方を求める傾向にあります。

【8月2日】

[子ども医療費助成の未来](#)

【8月3日】

大学生は受け身志向。

「興味ある学問分野のない大学でも進学する。」「楽に単位が取れる授業がいい。」「学生生活も大学側に指導・支援してもらいたい。」

こう考える人の割合が以前に比べて高くなってきたという統計が出ています。この傾向、学生だけでなく社会全体に当てはまる気がします。

【8月4日】

「仕事もプライベートも優先順位の基本はこうあるべきだ。”早いもん順”」

【8月5日】

「むやみに爪を出す鷹は、たいして能力がない。」

【8月6日】

[資産取得資金の積立方法に問題はないのか](#) | 大阪の企業会計の主治医
建物等大きな資産を所有しながら公益事業を運営する法人は、収支相償
対策としての資産取得資金という制度を考慮しておく必要があります。



【8月7日】

企業主導型保育。企業が主に従業員の子供のために設置する保育施設です。
認可外保育施設ですが、一定の条件を満たせば運営費や整備費に関して認可施設なみの
助成が受けられます。中小企業においても導入が始まっています。

【8月8日】

[コーポレートガバナンス・コードの改訂](#)

【8月9日】

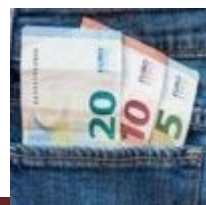
最長5年間の「技能実習」を修了した外国人に、さらに最長で5年間就労できる資格を新設。
単純労働者を受け入れるべく方針転換。
少なくとも年間数万人の外国人労働者が増える見込まれます。農業、介護、建設等の人材
不足の業界が対象。そのための受け皿作りが課題。

【8月10日】

「事故防止及び事故発生時対応マニュアル」。「基礎編」と「手引き」から成る保育事故防止の
マニュアルです。
昼寝や食事など重大な事故が起きやすい状況ごとに注意点をまとめたもの。
大阪市内のすべての施設に配布されます。大阪市こども青少年局作成。

[架空費用の観点から見た中小企業における不正の3つのケース](#) | 大阪の企業会計の主治
医

マンパワーが限られる中小企業において、どのような内部統制を構築す
れば不正を防止できるのか考えます。



【8月11日】

「教えることは教えられること」

【8月12日】

「忙しいポジションに就いても余裕を失わない人が、さらに必要なポジションに就いていく。」

【8月13日】

[愛知県津島市立北小学校 6年梅組クラス会【2017年】](#)

スーパーへ買い物に行きました。レジの人の名札を見てビックリ！ 「わに」
どんな漢字なのかはわかりません、

【8月14日】

「大将というものは、家臣から敬われているようでたえず落ち度を探されており、恐れられているようで侮られ、親しまれているようで疎んじられ、好かれているようで恨まれている。家臣を率いる要点は惚れられること。大将は家臣から心服されなければならないのだ。」

【8月15日】

[歴代PTA会長会の実態](#)

【8月16日】

「新たなものを創り出せる人とは、新たなものを創り出すための時間を創れる人なのだ。」

みたらし。今日はタイミングがよく、焼き立てを食べることができました。静かな津島神社。

【8月18日】

「小才は縁に出合って縁に気づかず、中才は縁に気づいて縁を活かさず、大才は袖すり合った縁をも活かす」

[NPO 法人会計基準の改正に関する3つのポイント](#) | 大阪の企業会計の主治医

受取寄付金の収益計上のタイミング、活動計算書における役員報酬の表示等、NPO 法人会計基準改正のポイントは大きく3つあります。



【8月19日】

「不安はやっかいな感情ですが、全く感じないのもこれまた問題である。」

【8月20日】

[定年後に子育て支援](#)

【8月21日】

全国学力テストを教員評価に反映。テスト結果が全国平均を下回っている状況を改善するために、大阪市が検討しています。文科省担当者は、テスト結果のその様な使い方は想定外と指摘。

ただ、大阪市はこのような手法には法的な課題があることも認識しています。

【8月22日】

夜の時間帯に観劇、観光等のレジャーを楽しむナイトエコノミー。訪日外国人旅行者からは、楽しめるところが少ないと不満の声が聞こえます。

しかし、そのための働き手を確保できるのか。新たな需要や文化創造が期待される半面、深夜労働への対応が必要になります。

[公益法人への立入検査で指摘することの多い項目ベスト5](#) | 大阪の企業会計の主治医

立入検査へは、『至らぬところを指導してもらえ。』と思ってコミュニケーションを図ることが得策です。



【8月23日】

水道事業存続の危機。全国の水道事業者は 1,400 弱。

市町村経営が原則です。独立採算でありながら水道収入では経費を賄えず、別会計から補填している自治体が 3 割あります。原因は、人口減に伴う需要縮小に加えて設備の老朽化。水道事業者の広域連携によって効率化を図ることが不可欠です。

【8月24日】

中高年のひきこもり。子供のころにひきこもりを始めて 20 年が経てば、親はもう定年を迎える歳。長年社会との扉を閉ざしてきた人に、いきなり「働きましょう」とは対応不可能な話です。“就労支援から居場所づくりへ”。

就労支援の前に小さな一歩を踏み出す支援が必要です。